

全国ブランド米の確立をめざす 「第九回全国米・食味分析鑑定コンクール」

「第九回全国米・食味分析鑑定コンクール」が十一月二十四日、中国・四国地方では初めて、奥出雲町で開催され、会場となった町民体育館には、全国各地か

ら生産農家や流通業者、マスコミ関係者など約七百人が訪れました。

このコンクールはこれまで、都市部で開催されてきましたが、コンクールを主

催する米・食味鑑

定士協会が、良質

米の産地として生

産者と行政が一体

となつて環境保

全・循環型農業を

推進し、仁多米の

全国ブランド化を

進めている本町の

取り組みに注目し

開催されたもので

す。

現在、販売環境

が悪化の一途をた

どるなか、このコ

ンクールでの受賞

結果は、販売価格の

向上や販路の確保、

拡大に大きな効果を

持つことから、今回は

全国の生産者や団体

から、過去最高とな

る総出品数約二千百

三点の応募がありました。

その中から機械計測など

により一次、二次審査を経

た最終審査に、「総合部門」

で三十九点、産地や品種、

栽培法などでグループ分け

した「品種部門」に四十二点

がノミネートされました。

過去、同コンクールにお

いて奥出雲町管内では、金

賞三回、特別優秀賞三回の

入賞を果たしています。

本町からは最終審査に

「総合部門」で法人二点、

個人一点が選ばれ、厳正な



▲ ブースでは仁多米をPR

食味審査の結果、奥出雲仁

多米株式会社と横田特定農

業法人ネットワークが見事

金賞に輝き、個人出品の磯

田福満さん（三成）が特別

優秀賞を受賞されました。

また、横田特定農業法人

ネットワークは「品種部門」

の水田環境部門でも特別優

秀賞を受賞されました。

当日は、官能テスト法に

基づいて炊飯され、「お米

のソムリエ」といわれる食

味鑑定士二十人と百貨店な

どのバイヤー、料理研究

家、消費者などで構成された審査員十人による食味官能テスト（光沢や粒の大きさなどの見た目、香り、甘味感、堅さ、柔らかさ、のどごしの良さなどを審査）が行われ、上位五点を投票し、審査員の総得票数で金賞が決定されました。

今回の入賞は、全国に仁多米の名声を高めたとともに、生産農家の積極的な参加により今後の米づくりへの自信や糧に繋がったものと思います。



▶ 最終審査の様子



▶ 審査用のお米を準備する集落営農組織の皆さん